

平成 28 年度 短期留学スペシャル・プログラム (SP)

「ロシアを知る短期留学」の募集要項

本短期留学スペシャルは、現地ロシアにおいて歴史や文化、言語、自然環境、社会情勢を学ぶ「ロシア学初級編」として実施されます。コースは、①「極東連邦大学・イルクーツク国立大学」、②「北東連邦大学」の2つとなります。対象は大学院進学希望の学部3年生です。使用言語は原則英語となります。

なお、本プログラムは、極東・北極圏の専門家を育成する RJE3 プログラムの「準備科目」として位置付けられています (RJE3 プログラムについては、<http://rje3.oia.hokudai.ac.jp/>を参照)。

1. **開講コース**：申請時に「コース①」あるいは「コース②」のどちらかを選択してください。

コース	① Human History and Russia-Japan Historical Relation in Siberia	② Natural Environment in Arctic Zone
派遣先	・極東連邦大学 (ウラジオストク) ・イルクーツク国立大学 (イルクーツク)	・北東連邦大学 (ヤクーツク)
担当教員	加藤 博文 教授 (アイヌ・先住民研究センター)	杉本 敦子 教授 (北極域研究センター)
研修内容	ロシア側のアジア開発拠点であったイルクーツクとウラジオストクにおいて日露交流史等を学びます。また、北大とロシア側教員等のディスカッション、現地エクスカーションを通じて生物と文化の多様性等についても学びます。	ロシアの大学での講義 (環境、永久凍土の利用、少数民族についての内容等)、河川氷上の道路、博物館、サハと少数民族の伝統芸能見学、プレゼンテーション等を通して環境や、永久凍土の利用と共存、地域文化等について学びます。
定員	10 名程度	5 名程度

2. **派遣スケジュール (案)**：「コース②」の詳細日程は後日お知らせします。

2017 年 1 月上旬～中旬		事前オリエンテーション、事前授業	
コース①		コース②	
2 月 7 日	出発、ウラジオストク着	2 月中旬頃	出発
2 月 8 日～ 2 月 9 日	極東連邦大学研修	7 日間～ 8 日程度	ヤクーツク着 北東連邦大学研修
2 月 10 日	極東連邦大学研修 イルクーツクへ移動		
2 月 11 日～ 2 月 16 日	イルクーツク国立大学研修		
2 月 17 日	帰国	2 月下旬頃	帰国
2017 年 3 月または 4 月		報告会	

※日程については変更になる可能性があります。

3. **応募条件**：下記条件を満たす者。

- ①北海道大学の学部3年生であること。
- ②前年度の国際交流科目「RJE3 Special Basic Seminar」に参加していないこと。
- ③大学院進学後も引き続きRJE3プログラムに関わる意欲があること。
- ④事前オリエンテーション、事前授業、帰国後報告会の全てに参加できること。
- ⑤RJE3プログラムが取り組む課題（環境評価・文化的多様性・土壌と生産・地域資源開発・防災管理）に興味を持ち、将来上記の課題解決に貢献する意欲があること。
- ⑥研修に必要な英語能力を有していること（初級程度のロシア語ができれば、なお可）。
（目安）英語：英検準1級、TOEIC 740、TOEFL (ITP/iBT/CBT)：550/80/213、IELTS 5.5
※上記点数を満たしていなくても応募は可能です。

⑦前年度の成績評価係数（GPA）が、原則として2.00/3.00 以上であること。

（GPAの計算方法は、下記を参照）

成績評価	秀	優	良	可	不可
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

総登録単位数

注意）履修した授業について単位制を採らない場合は、科目数をすべて単位数に置き換えて算出すること。なお、GPA対象科目のみの成績評価係数を計算すること。

4. **学生支援**：

- ・採択された学生には全旅程の**航空券**が支給されます。
- ・下記条件を満たす者には**奨学金7万円**が支給されます。
 - ①北海道大学正規課程に所属する学生であること。
 - ②前年度（前年度の成績がない場合は前学期）の成績評価係数（GPA）が、応募条件の計算式で原則として2.30/3.00 以上であること（2.00 以上2.30 未満の学生は要相談）。
 - ③日本国籍を有していること。または日本への永住が許可されていること。
 - ④経済的理由により自費のみでの採択プログラムが困難なこと。
 - ⑤出発前・帰国時に規定の報告書と必要書類を提出できること。
 - ⑥今後、RJE3プログラム主催の交流会・報告会などに積極的に参加すること。

5. **申請方法と申請書類**：

下記書類を締切日までに **RJE3 プログラム・セントラルオフィス** に提出してください。

- ・申請書（国際部内RJE3セントラル・オフィス、ウェブサイトにて入手するかメールにて請求）
- ・学生証のコピー
- ・英語能力を証明する書類（持っている者のみ）

※応募状況に応じて選考になります。

6. **締切**：**平成28年12月9日（金）17時まで**

選考結果は、締め切り後1週間以内にその可否を連絡します。

7. その他：

- ・宿泊費については、別途連絡します。
- ・参加者は「東京海上日動」海外旅行保険への加入必須です（北大生協で加入可能）。保険代は自己負担です。また、原則として他社の保険会社への加入は認めておりません。
- ・本短期留学を修了した学生には、国際交流科目「海外留学」として2単位が付与され、新渡戸カレッジ「海外留学」単位の一部としても認定されています。
- ・研修に必要な参加費を別途徴収いたします（1～2万円を予定）。
- ・派遣決定後、すぐにビザの申請手続きに入ります。申請時にパスポートを持っていない学生またはパスポートの残有効期限が6ヶ月未満の学生は、至急パスポートを取得してください。パスポートのコピーを期日までに提出できない場合、参加を取り消す場合があります。パスポート取得に関わる費用は自己負担です。
- ・ビザ申請に必要な書類はオフィスが準備しますが、総領事館での申請手続きは学生自身が行います。また、オフィスが提示する期間内での申請では無料ですが、それ以外での申請を必要とする場合、費用が発生することがあります（その場合は自己負担）。

【申請場所・問合わせ先】

国際部 2階国際交流課内 RJE3 プログラム・セントラルオフィス

担当：鈴木、虻川、北浜

対応時間：平日 9時～17時

電話：011-706-8143 E-mail: RJE-3@oia.hokudai.ac.jp

ウェブサイト：<http://rje3.oia.hokudai.ac.jp/>